

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 052	提案機関名	普及指導部		
<b>要望問題名</b> 生產品目別の適切な環境制御技術を組み合わせた省エネ生産技術の確立				
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 燃油高騰は施設園芸生産者の経営を圧迫し、円安の影響もあり今後も改善の見通しはたない。近年施設花き生産ではヒートポンプの導入や株元加温、CO <sub>2</sub> 施肥、EODヒーティングに代表される変温管理技術など、省エネ生産に向けた各種技術が開発されている。昨年までの対応によりニチニチソウなどでの効果が確認されているが、花き鉢物生産は生產品目が多岐にわたるため今後も対象品目を拡大して、品目毎の適切な省エネ生産技術の確立をお願いしたい。				
<b>解決希望年限</b>	<input type="checkbox"/> ①1年以内	<input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内	<input type="checkbox"/> ③4～5年以内	<input type="checkbox"/> ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター			
備考				

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	農業技術センター	<b>担当部所</b>	生産技術部果樹花き研究課				
<b>対応区分</b>	<input type="checkbox"/> ①実施	<input checked="" type="checkbox"/> ②実施中	<input type="checkbox"/> ③継続検討	<input type="checkbox"/> ④実施済	<input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応	<input type="checkbox"/> ⑥現地対応	<input type="checkbox"/> ⑦実施不可
<b>試験研究課題名</b> (①、②、④の場合) 花壇苗生産での省エネ高品質栽培技術の開発							
<b>対応の内容等</b> 効果的な省エネ高品質生産技術の確立を目的として、今年度からペチュニア、ビンカおよびマリーゴールドを用いて日没時（End of Day ; EOD）の昇温処理（EOD-heating）の効果について検討する試験に取り組んでいます。EOD-heatingについては、品目や品種によって反応が異なることが報告されているため、今後も引き続き、県内で生産されている品目を中心に効果的な省エネ生産技術について検討します。 また、切り花栽培において、局所加温による開花促進への効果、収量、品質に対する影響等については今年度から試験を実施しますので、今後、鉢物栽培への応用についても検討します。							
<b>解決予定年限</b>	<input type="checkbox"/> ①1年以内	<input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内	<input type="checkbox"/> ③4～5年以内	<input type="checkbox"/> ④5～10年以内			
備考							